

○平成27年度財務諸表等に関する質疑事項

資料1-2

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
3	庄司委員	受託研究費等が昨年度と比較して増加（平成26年度211,825千円→平成27年度325,599千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【増加額113,774千円】 受入件数の増加に伴い、費用が増加しております。	
3	庄司委員	受託事業費等が昨年度と比較して減少（平成26年度103,789千円→平成27年度49,199千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額54,590千円】 固定資産に係る減価償却費の減少（H26:40,553千円、H27:0円）に伴い、費用が減少しております。	
3	庄司委員	受託研究等収益が昨年度と比較して増加（平成26年度233,433千円→平成27年度361,226千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【増加額127,793千円】 執行した費用に伴い収益化されますので、執行額の増加に連動して収益も増加しております。	
3	庄司委員	受託事業等収益が昨年度と比較して減少（平成26年度113,336千円→平成27年度59,715千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額53,621千円】 執行した費用に伴い収益化されますので、執行額の減少に連動して収益も減少しております。	
3	庄司委員	施設費収益が昨年度と比較して増加（平成26年度32,507千円→平成27年度83,648千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【増加額51,141千円】 施設費収益については、工事費のうち、資産とするものと費用（修繕）となる金額に分かれます。道から交付される予算については、昨年度とほぼ同額（H26:574百万円、H27:586百万円）となりますが、平成27年度については費用に該当する部分が増加しております。受託研究等収益と同様に、執行した費用に伴い収益化されますので、費用の増加に連動して施設費収益も増加しております。	
3	庄司委員	補助金等収益が昨年度と比較して増加（平成26年度473,210千円→平成27年度560,256千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【増加額87,046千円】 文科省の橋渡し研究支援推進プログラムに係る補助金採択額の増加（62,856千円）に伴い、執行額が増加しております。	
3	庄司委員	寄付金収益が昨年度と比較して減少（平成26年度591,281千円→平成27年度478,991千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額112,290千円】 執行した費用に伴い収益化されますので、執行額の減少に連動して収益も減少しております。	
3	庄司委員	科学研究費補助金等間接経費収益が昨年度と比較して減少（平成26年度133,352千円→平成27年度96,843千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額36,509千円】 文部科学省等の科学研究費補助金の採択件数が、前年度に比べて減少（22件）したことに伴い、間接経費収益が減少しております。	
3	庄司委員	その他の雑益が昨年度と比較して増加（平成26年度89,809千円→平成27年度153,669千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【増加額63,860千円】 企業からの実施許諾料収入（50,000千円）、24時間保育体制に伴う単価引き上げによる保育料増収（11,000千円）等により収入が増加しております。	
20	庄司委員	教育経費のうち減価償却費が昨年度と比較して減少（平成26年度54,259千円→平成27年度42,437千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額11,822千円】 リース資産は減価償却の期間で契約（支払）を行っているため、年度内の支払額が減価償却費となります。平成26年度で契約完了したものが5件あるため、減価償却費が減少しております。	
20	庄司委員	研究経費のうち消耗品費が昨年度と比較して増加（平成26年度353,593千円→平成27年度415,419千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【増加額61,826千円】 文科省の橋渡し研究支援推進プログラムに係る補助金採択額の増加（62,856千円）に伴い、執行額が増加しております。	
20	庄司委員	研究経費のうち旅費交通費が昨年度と比較して減少（平成26年度140,486千円→平成27年度122,453千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額18,033千円】 年度途中の決算見込において、経営状況が厳しくなることが予想されたことから、収支改善対策の一環として、大学予算の執行を保留した結果、研究費における学会参加等の旅費が抑制され減少したことが要因です。	
20	庄司委員	研究経費のうち報酬・委託・手数料が昨年度と比較して増加（平成26年度293,595千円→平成27年度350,393千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【増加額56,798千円】 細胞調製施設に設置している機器の使用頻度が増加したことにより、保守点検の回数が増えたことや、橋渡し補助金の採択額が増加したことにより費用が増加しております。	
20	庄司委員	診療経費の委託費のうち他委託費が昨年度と比較して減少（平成26年度504,234千円→平成27年度333,634千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額170,600千円】 昨年度までは委託業務で対応していた看護助手を直接雇用化したため、費用が減少しております。	
21	庄司委員	診療経費の経費のうち報酬・委託・手数料が昨年度と比較して減少（平成26年度308,091千円→平成27年度277,104千円）している理由を御教示下さい。	経営企画課	【減少額30,987千円】 廃棄物単価上昇等に対応するため、平成27年度より導入した機器（一般廃棄物圧縮機）の効果により廃棄物処理費が減少（20,072千円）したことが主な要因です。	



No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.

決算報告書	古谷委員	附属病院収入、診療経費 共に 予算額よりアップしているが、（注4）にて入院・外来診療単価の上昇によりとあるが具体的に教えてください。			
-------	------	--	--	--	--